

## 編集後記

日本生態系協会が、市民アンケートをもとに2002年「環境いいニュース・わるいニュース」を発表し、いいニュースの1位は、『熊本県球磨川の荒瀬ダムの撤去決定』で、わるいニュースの1位は、『欧州、中国など世界各地での洪水被害』であった。同協会では、ダム撤去は日本でのダム政策の転換期の到来、洪水被害は地球温暖化の影響と人間との共生と位置付けているという。

地球温暖化の防止には、CO<sub>2</sub>の排出の抑制が有効であり、水力発電と石油を燃料とする火力発電の、1キロワット・時当たりのCO<sub>2</sub>発生量を比べると、前者の0.011kgに対し後者は、0.742kgと、約70倍水力発電の方が、「地球に優しい」し、こうした観点からは、いいニュースの1位である発電を主目的とする荒瀬ダムの撤去と、わるいニュースの1位が矛盾する。説明責任の重要性を再認識させられる結果といえる。

温暖化の影響といわれている「降

るところには集中して降り、降らないところには降らない」気象状況は今後ますます増大すると考えられ、「21世紀は水の世紀」といわれ、今年3月16日～23日には、京都、滋賀、大阪において、第3回世界水フォーラムが開催される。こうしたことから、ダムが完全に無用の長物となったわけではない。

このため、建設時のコスト削減は勿論のこと、社会資本の有効活用の観点からのダム再開発等々、新たな技術開発、低コスト化など、社会的要請に応えられる技術の蓄積は、ますます必要となってきたといえる。この特集号が何らかの役に立つことを願わずにはいられない。

巻頭言は、水資源開発公団の丈達理事からいただいた。ダム建設の一翼を担った公団も、独立行政法人化が決まり、先のニュースと関連して時の流れを感じるが、名実ともに生まれ変わり、今まで以上に活躍されることを祈りたい。

また、報文を執筆された方々に改めてお礼申し上げます。

(山崎・岩本・金津)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
新開 節治	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
中野 俊次	本田 宜史
両角 常美	渡邊 和夫

### 編集委員長

橋元 和男

### 編集委員

久保 和幸	国土交通省
小幡 宏	国土交通省
池田 哲郎	国土交通省
窪 豊則	農林水産省
江藤 祐昭	原子力安全保安院
本多 明	日本鉄道建設公団
軍記 伸一	日本道路公団
門田 誠治	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
山崎 劭	水資源開発公団
高村 和典	日本下水道事業団
吉村 豊	電源開発
渡辺 博明	大林組
土井 重孝	鹿島
橋本 弘章	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
矢仲徹太郎	コベルコ建機
金津 守	コマツ
奥山 信博	清水建設
山口喜久一郎	新キャタピラー三菱
増子 文典	大成建設
星野 春夫	竹中工務店
加藤 謙	東亜建設工業
境 寿彦	日本国土開発
斉藤 徹	日本舗道
館岡 潤仁	ハザマ
緒方浩二郎	日立建機

### 4月号予告

- ・全天候型建設工法を支える水平搬送システム—北半島に建設中の東通原子力発電所1号機—
- ・RC造用フロアクライミングクレーンの開発
- ・大規模交差点の立体交差化施工方法「ダウニングブリッジ工法」の開発
- ・シールド機カッタービット交換工法（リレービット工法）の展開
- ・鋼管杭の接合・圧入に適用する「フラッシュパイリング・システム」の開発
- ・ディープウェル工法における地下水自動管理システム—掘削工程に応じた地下水位の自動管理—
- ・自走式木材破砕機リフォレによるダム流木の破碎・チップ化

## No.637 「建設の機械化」

2003年3月号

〔定価〕1部840円（本体800円）  
年間購読料9,000円

平成15年3月20日印刷

平成15年3月25日発行（毎月1回25日発行）

編集兼発行人 玉光弘明

印刷所 株式会社技報堂

## 発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax. (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支部	〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支部	〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支部	〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5	電話 (025) 232-0160
中部支部	〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支部	〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-3-27	電話 (06) 6941-8845
中国支部	〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支部	〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支部	〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56	電話 (092) 741-9380